

展示室4 司 修一詩のかたち 2018年1月20日(土)～3月25日(日)

群馬県前橋市出身の司修(つかさ・おさむ 1936～)の作品をご紹介します。

司は幻想的な絵画を描くことで知られるだけでなく、絵本などの挿絵画家、装幀家、小説家の顔を持つ多彩な作家です。独学で油絵や版画制作を学び、同じく群馬生まれの画家鶴岡政男を含む新人画会の画家たちや、15世紀フランドルの画家ヒエロニムス・ボス、円空などの作品に影響を受け、コラージュ、デカルコマニーといったシュルレアリスムたちが好んで用いた技法や、エッチング、リトグラフなどの版画技法など、様々な手法で作品を制作しています。

本展示では、当館のコレクションより、同郷の詩人萩原朔太郎の作品に着想を得た油彩や版画を中心に、21点をご覧いただけます。冷たく乾いた上州の風のように透徹とした、司独特の幻想と浪漫の世界をお楽しみください。

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考	展示期間
1	薔薇	1976	エッチング・皮	19.7×20.1	小林茂利氏寄贈	
2	鶴岡政男像	1977-79	インク、鉛筆・紙	40.7×32.2	作者寄贈	1/20～2/25
3	漂泊者の歌	1978	リトグラフ・紙			
3-1	No.1 漂泊者の歌			37.0×59.3		
3-2	No.2 殺せかし！殺せかし！			40.4×59.3		
3-3	No.3 見えない兇賊			41.0×44.8		
3-4	No.4 恐ろしい山			38.0×52.0		
3-5	No.5 風船乗りの夢			36.3×59.4		
3-6	No.6 寄生蟹のうた			37.6×38.2		
3-7	No.7 蝶を夢む			37.8×55.8		
3-8	No.8 帰郷			33.4×45.0		
3-9	No.9 地面の底の病気の顔			45.3×40.0		
3-10	No.10 さびしい来歴			43.0×63.5		
4	同時代ゲーム	1979	油彩・カンヴァス	97.3×162.0	作者寄贈	
5	萩原朔太郎「帰郷」より ＜わが故郷に帰れる日＞	1993	油彩・板	19.5×28.5		
6	萩原朔太郎「帰郷」より ＜火焰は平野を明るくせり。＞	1993	油彩・板	14.2×14.2	作者寄贈	
7	萩原朔太郎「帰郷」より ＜まだ上州の山は見えずや。＞	1993	油彩・板	14.2×14.2		
8	萩原朔太郎「帰郷」より ＜母なき子供等は眠り泣き＞	1993	油彩・板	14.0×14.0		
9	萩原朔太郎「帰郷」より ＜ひそかに皆わが憂愁を探れるなり。＞	1993	油彩・板	14.2×14.2		
10	萩原朔太郎「帰郷」より ＜さびしくまた利根川の岸に立たたんや。＞	1993	油彩・板	17.2×37.5		
11	萩原朔太郎「帰郷」より ＜人の憤怒を烈しくせり。＞	1993	油彩・板	35.1×25.0		
12	萩原朔太郎「中学の校庭」	1993	油彩・板	14.0×14.1		
13	萩原朔太郎「才川町」	1993	油彩・板	29.5×24.3		
14	萩原朔太郎「新前橋駅」	1993	油彩・板	9.2×9.2		

15	萩原朔太郎「大渡橋」	1993	油彩・板	39.5×38.0	
16	萩原朔太郎「広瀬川」より ＜われらの生涯を釣らんとして。＞	1993	油彩・板	18.0×30.0	
17	萩原朔太郎「国定忠次の墓」	1993	油彩・板	29.9×29.9	
18	萩原朔太郎「虚無の鴉」より ＜我れはもと虚無の鴉＞	1993	油彩・板	25.0×20.0	作者寄贈
19	萩原朔太郎「氷島」より	1993	油彩・板	7.8×4.8	作者寄贈
20	『萩原朔太郎全集第一巻』表紙絵	1993	油彩・紙(本の表紙 に手描き)	21.3×14.3	
21	みつめる人	不詳	油彩・紙	76.7×56.5	木村哲郎氏寄贈

参考出品

作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考	展示期間
大野五郎	司修の像	1960	鉛筆・紙	40.3×32.2	司修氏寄贈	2/27～3/25

※本リストは概ね年代順となっており展示順とは一致しません。あらかじめご了承ください。
 ※都合により展示作品を変更する場合がございます。ご了承下さい。